

ホンダ

ヘッドライト初期位置学習

- 対応車種: ヴェゼルハイブリッド(RU3/RU4 H25/12~)
オデッセイハイブリッド(RC4 H28/2~)
シャトルハイブリッド(GP7/GP8 H27/5~)
ステップワゴン(DBA-RP1/RP2/RP3/RP4 H27/4~)
フィットハイブリッド(GP5/GP6 H25/9~)
フリードハイブリッド(DAA-GB7/GB8 H28/9~)等

ホンダ車の『ヘッドライト初期位置学習』の方法を記載しますので、参考にしてください。

以下の作業を行った場合にヘッドライトの初期位置学習を行う必要があります。

- ・ ヘッドライト ASSY を脱着・交換した場合。
- ・ LED コントロールユニットを脱着した場合。
- ・ アクティブコーナーリングライトコントロールユニットを交換した場合。
- ・ ヘッドライトオートレベリングコントロールユニットを交換した場合。
- ・ ヘッドライトレベリングモーターを脱着・交換した場合。
- ・ ヘッドライトレベリングセンサーを脱着・交換した場合。

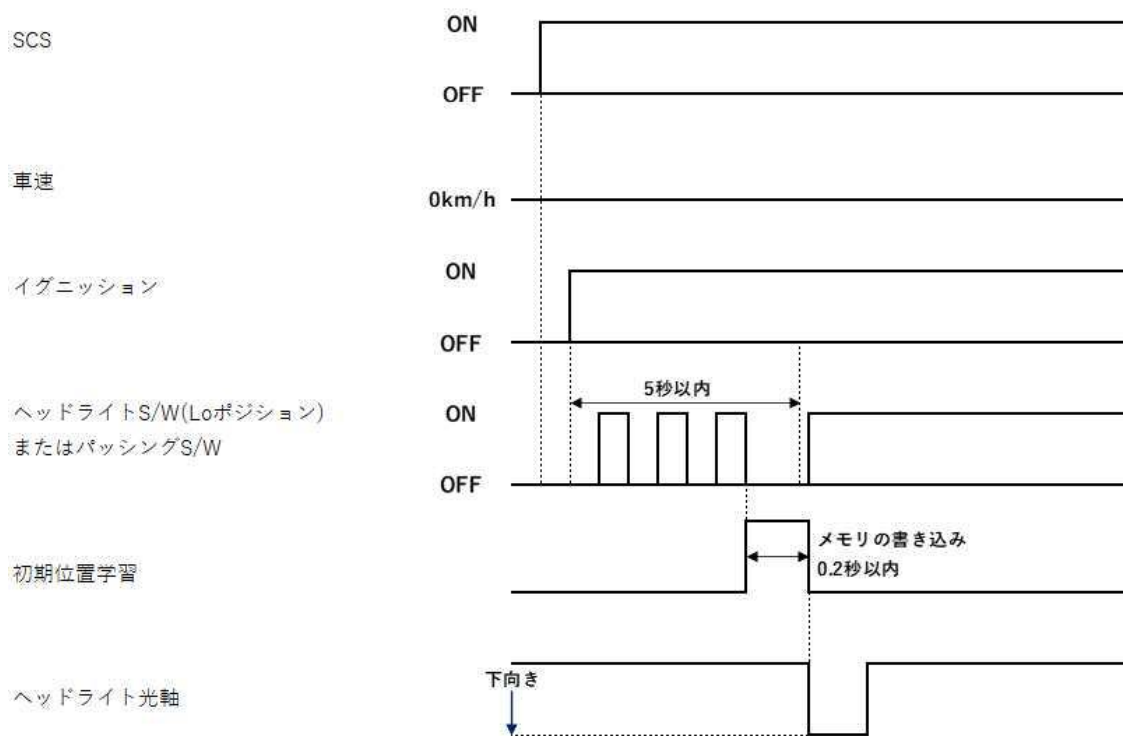
ヘッドライト初期位置学習

1. IG OFF の状態で診断コネクタ(OBD16 ピン)に G-scan を接続してください。
2. 運転席及び助手席のシートを一番後方にスライドさせてください。
3. 車両から荷物等を降ろし、運転席に 1 名のみ乗車してください。
4. G-scan で『SCS ショートモード』を実行し、1 分以上待ってください。

5. IG ON にしてください。

6. 5 秒以内にヘッドライト S/W(Lo ポジション)またはパッシング S/W の ON/OFF を 3 回以上繰り返し、ON のままにしてください。

※ヘッドライトの光軸が下向き後、元の位置に戻り初期位置学習は完了します。



7. IG OFF にし、G-scan を診断コネクタ(16ピン)から外してください。

8. ヘッドライトの光軸調整を行ってください。

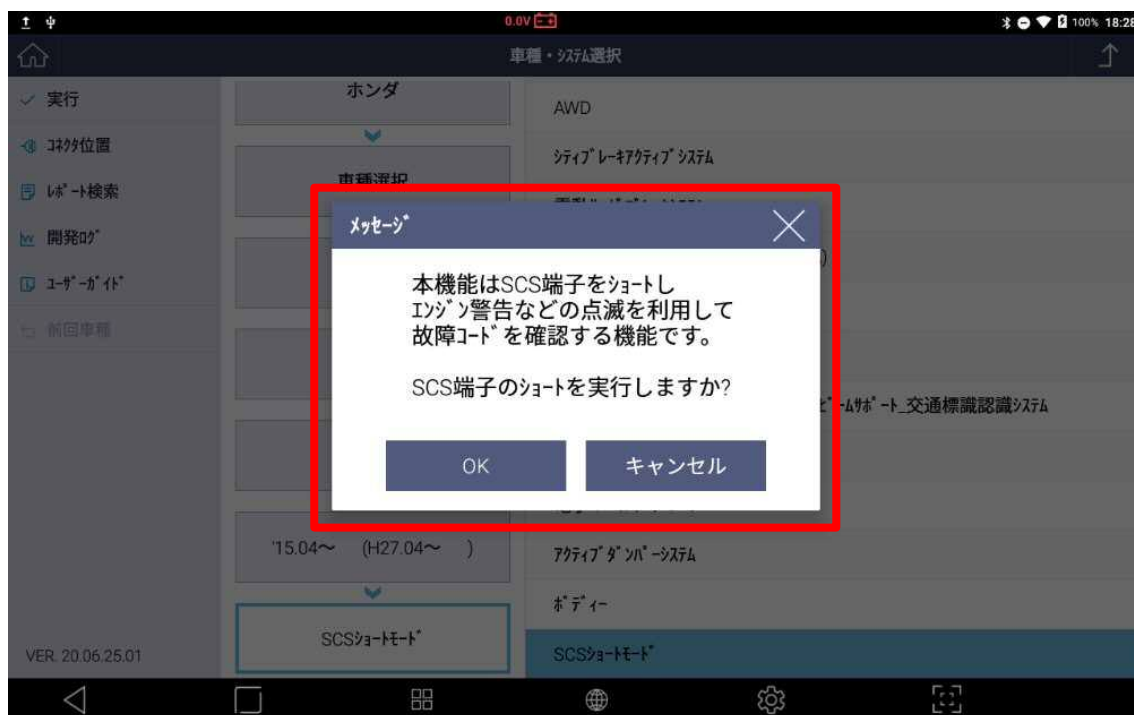
SCS ショートモード

1. 車種・システム選択画面で『SCS ショートモード』を選択して実行を押してください。



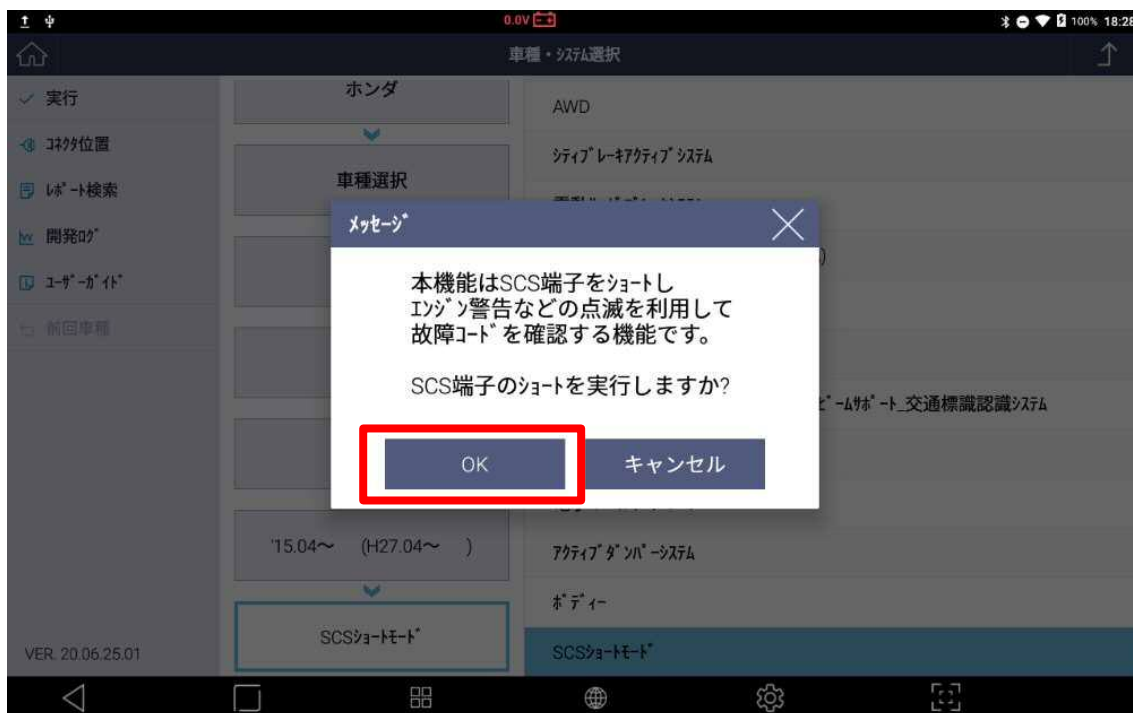
〈図: SCS ショートモードを選択〉

2. 以下の画面が表示されます。



〈図: SCS ショートモード実行確認画面〉

3. 「OK」を押して『SCS ショートモード』を実行してください。



〈図:SCS ショートモード実行確認画面〉



〈図:SCS ショートモード実行中画面〉

※注意と補足※

- ・ 診断コネクタ(OBD16ピン)の9番ピンにはSCS(サービスチェックシグナル)ラインがつながっています。このSCSラインと4番ピン(グラウンドアース)を短絡させることをSCSショートといいます。警告灯で故障コードを読み出す場合や、点火時期の確認(調整)を行う場合に使用します。詳細はホンダのサービスマニュアルをご参照ください。
- ・ SCSショートモードは診断コネクタ(OBD16ピン)装備車のみ対応です。